

☆ 世 界

綿 花 2017/18 年、作付面積が拡大する見通し

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、2016/2017 年に綿花価格の上昇が広く見られた影響を受け、2017/18 年は農家が作付面積を拡大することが予想され、世界の綿花作付面積は前年比 5% 増の 3,080 万 μ となる見通し。各国の作付面積と生産については、以下の通り。

・インド…2016/17 年は綿花価格上昇とイールド増により利益が増加した。そのため、農家の栽培が促進されることが予想され、2017/18 年の作付面積は 7% 増の 1,130 万 μ となる見通し。イールドが過去 5 年分の平均に近くなれば、生産は 3% 増の 600 万 μ 弱となる見込み。

・中国…作付面積は 5 シーズン連続で縮小を続けていたが、綿花政策の安定と綿花価格の継続的な上昇により、3% 増の 290 万 μ となる予想。生産は 1% 増の 480 万 μ と、5 シーズンぶりの増加が見込まれる。

・米国…作付面積は 12% 増の 430 万 μ 、イールドは 938kg/ μ 、生産は 8% 増の 400 万 μ となる見通し。

・ウズベキスタン…イールドの低い土地を綿花以外の農作物の栽培にあてる政策により、作付面積は 4% 減の 120 万 μ となる見込み。平均イールドは、土壌の水分増により 1% 増の 638kg/ μ 、生産は 2% 減の 77 万 μ と予想される。

南半球は、2017/18 年初めに綿花価格が下落すると予想され、綿花生産国が作付面積を拡大するのは限定的と見られる。

・ブラジル…作付面積は 2% 増の 95 万 μ 、生産は 140 万 μ に達する予想。

・オーストラリア…作付面積は 3% 増の 57 万 4,000 μ 、4% 増の 100 万 μ となる予想。

綿花ミル消費は 2017/18 年、3 シーズン連続で世界の生産を上回る見込み。2017 年から 2018 年にかけて世界経済が回復すれば、世界の消費は 2% 増の 2,460 万トンになると予想される。各国の消費については、以下の通り。

・中国…1% 増の 770 万 μ となり、世界の綿花消費の 30% を占める見通し。

・インド…2016/17 年は 3% 減の 510 万 μ であったが、綿糸製品に競争力のある価格をつけられることなどから、2017/18 年は 2% 増の 520 万 μ となる予想。

・パキスタン…繊維輸出に助成金を出すという新たな政策により、1%増の 230 万トとなる見込み。

・バングラデシュ…5%増の 150 万トとなれば、2017/18 年に世界第 4 位の綿花消費国となる。

世界の綿花貿易は、3 シーズン連続で減少していたが、2016/17 年に 5%増の 790 万トとなる予想。各国別に見ると、輸入は、バングラデシュが 3%増の 140 万ト、ベトナムが 16%増の 120 万ト、世界第 3 位の綿花輸入国である中国が 3%増の 98 万 7,000 トの予想。輸出は、米国が世界の輸出の 38%を占め 53%増の 300 万ト、インドが 30%減の 88 万 6,000 トの予想。

中国の国家備蓄綿花は、2017 年 3 月は 46 万 6,000 ト、翌 4 月はそれを少し下回る 40 万 4,000 トが放出された。在庫は、2016/17 年末に 17%減の 930 万トとなったと見られる。世界の期末在庫は、2016/17 年は 7%減の 1,740 万ト、2017/18 年は 5%減の 1,640 万トと予想される。

世界の綿花需給見通し

(100 万ト)

	2015/16	2016/17	2017/18
生産	21.06	22.76	23.58
消費	24.15	24.11	24.55
輸入	7.54	7.95	8.09
輸出	7.59	7.95	8.09
期末在庫	18.74	17.37	16.41
価格*	70	79*	71

*Cotlook A インデックス(セント/ポント)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。